

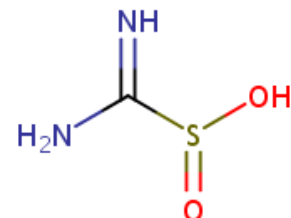
初期評価プロファイル (SIAP)

アミノイミノメタンスルフィン酸

物質名 : Methanesulfinic acid,aminoimino

構造式 : CH₄N₂O₂S

CAS No. : 1758-73-2



勧告

現在のところ懸念は低い

勧告の根拠の概要

環境

アミノイミノメタンスルフィン酸 (ホルムアミジンスルフィン酸, FAS) は閉鎖系で製造され、放出された粉塵または水は廃水処理の際にろ過により除去されるかまたは分解される。安定性が悪く、算出された PEC/PNEC比 > 1 から (JETOC 註 1)、FAS が重要な環境に対する懸念を示さないと思われる。

ヒトの健康

本製品は脱色剤として使用されるとき、硫酸塩と尿素に分解する。消費者用の製品は粗い粒状なので、放出される粉塵の量は少ない。FAS の水性エアロゾルは急性に吸入すると非常に毒性が高く、急性経口毒性は低く、臓器に特異的な組織病理学的影響は認められなかった。無傷の皮膚に対して中程度の刺激性があるが、皮膚感作の証拠は無い。

結論すると、FAS 粉塵の吸入から、および熱分解の際に生成するSO₂から作業員を適正に保護すれば、FAS にはヒトの健康への懸念がほとんど無いように思われる。

(JETOC 註 1) 下線は SIAP の訳ですが、SIAR には下記のように記述されています。

The probability for PEC*/NEC > 1 is 0,2858 (calculated with USES v.1.0) .

[著作権および免責事項について]

[著作権]

本資料の著作権は弊センターに帰属します。引用、転載、要約、複写 (電子媒体への複写を含む) は著作権の侵害となりますので御注意下さい。

[免責事項]

本資料に掲載されている情報については、万全を期しておりますが、利用者が本情報を用いて行う一切の行為について、弊センターは何ら責任を負うものではありません。また、いかなる場合でも弊センターは、利用者が本情報を利用して被った被害、損失について、何ら責任を負いません。